

# 帯状疱疹のワクチン



テレビで流れている帯状疱疹のワクチンについて、詳しく教えてください。



しん)は子どもの頃に感染した水疱瘡(みずぼうそう)のウイルスが神経内に残り、免疫低下、加齢、ストレスなどで再活性化されて、皮膚なら帯状疱疹、顔面なら顔面神経まひとして発症します。特に加齢が進むと発症しやすく、後遺症が残ることも多々、最近では認知症

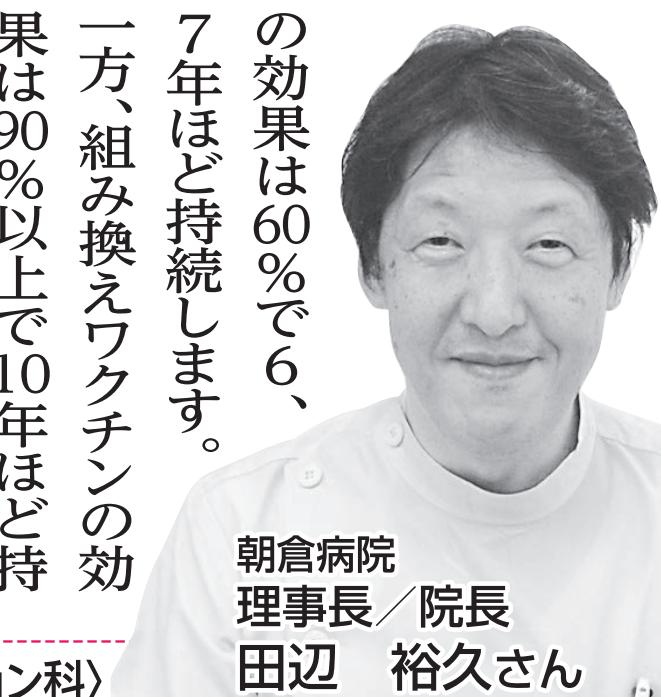
のリスクも高くなるといわれています。ところが幸いこの発症予防にワクチンが有効なのです。50歳以上の方は自費で、65歳以上では自治体の助成による定期接種があります。ワクチンにはウイルスを弱毒化した生ワクチンとウイルスの一部を使つた組み換えワクチンの2種類があります。生ワクチン

の効果は60%で6、7年ほど持続します。一方、組み換えワクチンの効果は90%以上で10年ほど持続と組み換えワクチンの方が進むと発症しやすく、後遺症が残ることも多々、最近では認知症のリスクも高くなるといわれています。ところが幸いこの発症予防にワクチンが有効なのです。50歳以上の方は自費で、65歳以上では自治体の助成による定期接種があります。ワクチンにはウイルスを弱毒化した生ワクチンとウイルスの一部を使つた組み換えワクチンの2種類があります。生ワクチン



効果が高いですが、接種回数は生ワクチンが1回に対し、組み換えワクチンは2回で値段も2倍ほど高く、副作用も若干多くなります。ただし生ワクチンは免疫低下の方は接種できませんが、組み換えワクチンであれば免疫低下している18歳以上の方は接種可能です。詳しくはお近くの医療機関にご相談ください。ワクチンで表舞台か

らは退場(の)方針で。



朝倉病院  
理事長／院長  
田辺 裕久さん